



にこまるの部屋

2025年
12月号

252号

「社会福祉協議会（社協）」は、市民の皆様とともに、福祉のまちづくりを進める社会福祉法に位置づけられた民間団体です。皆様からの寄付金、賛助会費、共同募金に支えられています。

発行 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

〒252-0236 相模原市中央区富士見6丁目1番20号 あじさい会館内

電話 042-730-3888 FAX 042-759-4382

電子メール info@sagamiharashishakyo.or.jp

ホームページ https://www.sagamiharashishakyo.or.jp/

用語説明

聴者：聴覚に障がいがない人

ろう者：音声言語を獲得する前に失聴した人

UDトーク：音声認識・自動翻訳をリアルタイムで文字化するアプリ

聾学校：聴覚に障がいのある子どもたちのための特別支援学校

補聴器：聴力が低下した人が音を聞き取りやすくするために使う医療機器

真庭 結生 さん(ろう者)

小学部から高等部まで聾学校に通っていて、昨年の4月に新卒で入社しました。手話で会話する人のなかで育ったので、入社後、聴者の方とどのようにコミュニケーションを取ったらいいか悩みました。

でも、聴者の方が手話を習って私たちとコミュニケーションをとろうとくださる気持ちがうれしかったし、自分自身でも「口元が見えるようにマスクを外してほしい」などなるべく気持ちを伝えるようにすることで、少しずつ慣れてきましたね。



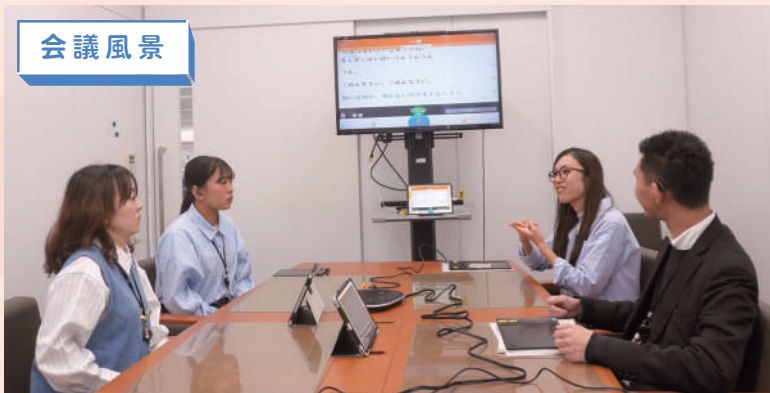
須川 八重子 さん(ろう者)

聴者に自分の想いを伝えるのはなかなか大変なことで、ろう者のなかには「どうせ分らないだろうな」とあきらめてしまう人もいますし、聴者も同じように感じる人もいます。

私が心掛けていることは、そこで気持ちを折らないこと。せっかくいろいろな人が働いている職場なので、どんどんコミュニケーションをとって世界を広げていきたい。お互いが「理解したい」と向き合う姿勢が、大事だと感じています。



会議風景

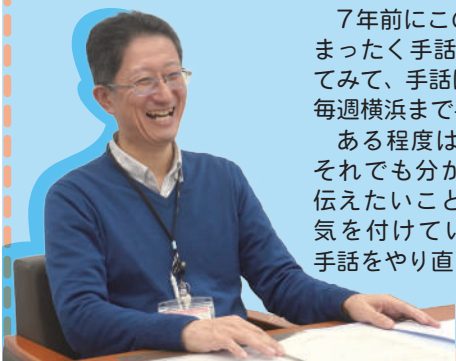


ろう者と聴者が参加する会議では、UDトークで会話内容をリアルタイムで文章化し、モニターに表示している。マイクを使い、誰が話しているか分かるように工夫することも。

さまざまな能力・特性・価値観を持った人々が協力し、仕事を進める現代。職場でのコミュニケーションに課題を感じる方も多いのではないのでしょうか。

今回取材した三菱UFJビジネスパートナー株式会社は、JR相模原駅前に本社を構え、身体・知的・精神などに障がいのある社員が在籍社員の8割を占める企業です。そのなかでも聴覚に障がいのある方が多く働く「業務第二部」で、聴覚に頼らないコミュニケーションの秘訣をうかがいました。

業務第二部長 中村 淳 さん(聴者)



7年前にこの部署に異動してきたときは、まったく手話ができませんでした。異動してみて、手話は業務上必要な言語だと思い、毎週横浜まで手話を習いに行きました。

ある程度は使えるようになりましたが、それでも分からないことも多い。部下の伝えたいことを分かったふりしないよう気を付けていて、「もう一度！」と何度も手話をやり直してもらっています(笑)

鈴木 駿太 さん(ろう者)

私は補聴器をつけているため、聴者から「補聴器を付けているから聞こえるだろう」と話しかけられることがあります。内容をはっきり聞き取れるレベルではないので戸惑いますが、戸惑うだけではなく、自分の状況を伝えるようにしています。

周りのことを考えながら、自分の意見を伝えることの大切さを社会人になって学びましたね。

ろう者でもコミュニケーションの取り方はそれぞれなので、「聴覚障がい」といってもそれぞれ状況が違うことを知ってもらえると嬉しいです。



社員にはなるべく自分たちで考え、行動してもらっています。社内だけで使う用語には手話がないので、手話を使う社員にオリジナルの手話を作ってもらうことも。

どんな仕事でも同じかもしれませんが、お互いの話を8割くらい理解して「分かったつもり」になっているとトラブルが起こります。

特にわが社は、コミュニケーション方法が千差万別。それぞれに合ったコミュニケーション方法を探して、伝え合う必要があります。

コミュニケーションで気を付けているのは「肯定する」「非難しない」そして「対話をあきらめない」こと。

人生いろいろあるけど、会社にいるときくらい元気ハツラツに過ごしてもらいたい。そうなるような環境を目指しています。

「どうせ分らない」を越えて
オフィスに広がる「あきらめない」コミュニケーション



広告



無料お試し体験
を実施中!!

詳しくは、お気軽にお問合せください

てあて 在宅マッサージ

TEL 042-786-6390

FAX 042-786-6391

株式会社てあて／相模原市中央区高根1-2-7-1F



お問い合わせは
てあてホームページからどうぞ
てあては医療機関と同等の感染症対策を講じ
皆さまに安全・安心をお届けいたします

ご自宅や入居施設で
医療 マッサージ
身体機能訓練が
受けられます
健康保険が
使えます
●ただし申請には医師の同意が必要となります



子育て支援の“ファミリー・サポート・センター”援助会員募集 子どもが好きな方、地域の子育てに力をお貸してください！

「保育所の迎えが間に合わない時に代わりにお迎えをお願いしたい」「用事を済ませる間だけ子どもを預かってほしい」といった保護者の方をサポートする、援助会員を募集します。(有償)

援助会員講習会を右記の日程で行いますので、この機会にご参加ください。

3日間の受講が必要です。(要予約)

	日	時
1日目	令和8年2月17日(火)	午前9時30分～午後3時
2日目	2月20日(金)	午前9時30分～午後3時30分
3日目	2月27日(金)	午前9時30分～午後4時

あじさい会館6階 展示室
ファミリー・サポート・センター事務局
042-730-3885

famisapo@sagamiharashishakyo.or.jp



ホームページ

